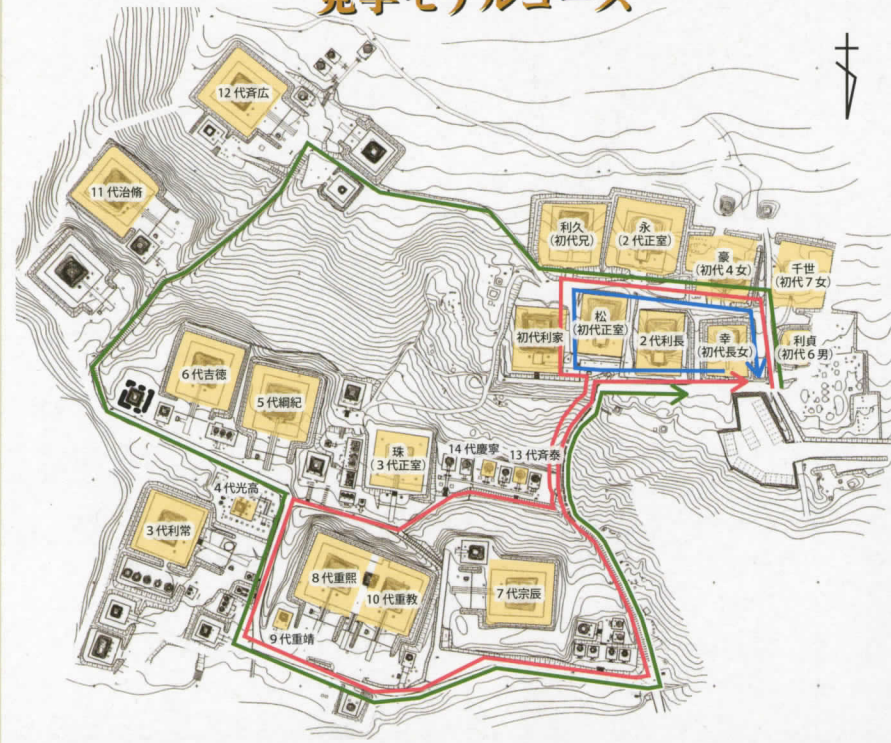


見学モデルコース



コースA 所要時間:約20分

初代利家とその家族の墓を巡るルート。戦国時代から江戸初期の金沢の歴史に触れることができる。
距離:約350m 高低差:約8m

コースB 所要時間:約50分

加賀藩黎明期と江戸時代中期の藩主墓を中心に訪れるルート。代表的な藩主とその家族の墓を見学することができる。
距離:約900m 高低差:約50m

コースC 所要時間:約90分

墓所全体を一巡するルート。約400年の墓所の歴史を体感し、加賀藩の歴史と文化に触れることができる。
距離:約1,100m 高低差:約50m

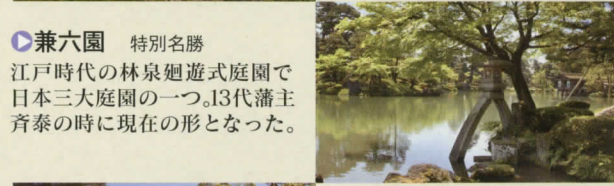
前田家墓所へのアクセスと加賀藩ゆかりの文化財



- お車で 北陸自動車道金沢森本ICから約20分
北陸自動車道金沢西ICから約30分
- バスで 北鉄バス「野田」下車、徒歩約10分
北鉄バス「泉野出町」下車、徒歩約20分



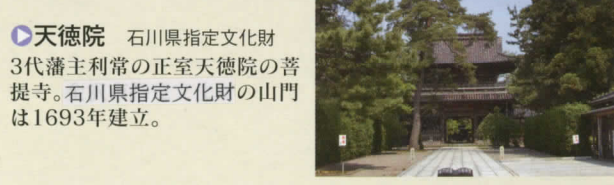
◆金沢城跡 国史跡・重要文化財
加賀藩主前田家の居城。石川門、三十間長屋、鶴丸土蔵など藩政期の遺構が残る。



▶兼六園 特別名勝
江戸時代の林泉廻遊式庭園で日本三大庭園の一つ。13代藩主斉泰の時に現在の形となった。



◆成異閣 重要文化財・国名勝等
13代斉泰が母真龍院のために建てた屋敷。1階が書院造り、2階が数寄屋造り。



▶天徳院 石川県指定文化財
3代藩主利常の正室天徳院の菩提寺。石川県指定文化財の山門は1693年建立。

国史跡 加賀藩主前田家墓所

指定の名称 加賀藩主前田家墓所
指定年月日 平成21年2月12日 文部科学省告示第6号
所在地 石川県金沢市野田町野田山内
指定面積 86,294.35m² (前田利長墓所:33,391.91m²)
所有者 個人、金沢市
管理団体 金沢市
【協力】 公益財団法人成異閣
【編集・発行】 金沢市文化財保護課
石川県金沢市広坂1-1-1 TEL076(220)2469
平成24年9月発行

【注意事項】

- 墓所内には滑りやすい箇所がありますのでご注意ください。
- 史跡内での喫煙など火気の使用はご遠慮ください。
- 墳墓内への立ち入りはご遠慮ください。
- 草木、苔などの採取はご遠慮ください。
- ごみは各自お持ち帰りください。

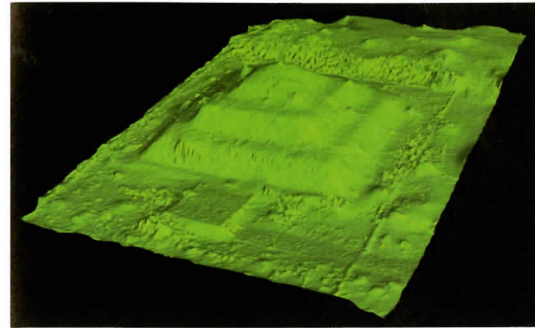


加賀藩主 前田家墓所



加賀百万石、前田家の歴史に触れる

加賀藩主前田家墓所図



初代前田利家墓3Dモデル図



15代当主利嗣墓



幸(利家長女・前田長種室)墓と石廟

前田家墓所の概要

前田家墓所は、金沢市の南東部、野田山丘陵にある野田山墓地の最高所にあり、金沢城からみるとほぼ南、直線距離3.5kmのところまに位置しています。標高は最も高いところで約180m、東西に約400m、南北に約350mを測り、面積は86,294.35m²を測ります。

墓所内には、江戸時代に加賀・能登・越中三ヶ国約100万石を領有した歴代藩主を中心に、藩主正室、生母、子女ら計84基の墳墓が造られています。藩主墓は土を方形に3段重ねたピラミッド状の特徴的な形(方形三段築造)をしており、初代前田利家墓で一辺が約19m、以降の藩主墓で一辺約16mを測り、高さも5m以上あります。3代藩主利常墓以降の藩主墓は溝を周囲に巡らせて墓域を形成しています。

江戸時代の墓所は仏式でしたが、前田家が明治7年に神式葬に転換したため、同10年に墓所も改められ、墳墓の正面に鳥居が建てられました。

個々の墳墓の大きさ、墓所全体の面積ともに全国でも最大級の規模であり、まさに加賀百万石の大家墓所として堂々たる威容を誇っています。

藩主墓所の始まりは慶長4年(1599)に死去した利家の墳墓造営が契機となります。大坂において死去した利家は生前に遺言を残しており、野田山を自らの墳墓の地として指定しています。以降、歴代藩主の墳墓はこの地に造営され、近世大家墓所として発展していきます。墓所は現在も祭祀行為が営まれており、まさに「生きた墓所」である点も大きな特徴といえます。

このような大規模な墓所を継続的に造営し続けることができた背景としては、前田家が天正11年(1583)の利家の金沢入府から廃藩置県まで、加賀100万石の大家であったことが大きな理由の一つであるといえます。

前田家墓所は織田信長・豊臣秀吉の時代から現代に至るまでの墓所の変遷をたどることができるという特徴を持ち、その規模の大きさと独特の墳墓形態も含め、日本を代表する大家墓所の一つとして極めて高い文化財的価値を有しています。加えて、我が国の大家墓所が持つ多様性を如実に物語るのであるとも評価されました。このことから、高岡市の前田利長墓所とともに平成21年2月12日に国の史跡に指定されました。

富山県高岡市 前田利長墓所

富山県高岡市に加賀藩2代藩主前田利長の墓所があります。利長死去後の三十三回忌に3代藩主利常が造営したもので、2段築造の方形墓を築き、側面には蓮華園を彫刻した戸室石を貼りつけ、墳墓の周囲には方形の水堀が巡ります。方形段築の墳墓と周囲に方形の水堀を持つという点から、野田山の前田家墓所と同様の造墓原理により築かれていることがわかります。また、墓所の西方約900mには利長の菩提寺である国宝瑞龍寺が位置します。

前田利長墓所は加賀藩主前田家の葬送形態を知ることのできる貴重な史跡であるとして、野田山の前田家墓所とともに国史跡に指定されています。



(高岡市教育委員会提供)

加賀藩主前田家墓所被葬者

番号	被葬者	代	備考
A	利家	初代	尾張国荒子生。加賀百万石の礎を築く。遺言により野田山に葬られる。
B	利長	2代	初代利家長男。関ヶ原の戦いで徳川方につき、加越能三ヶ国を領有。
C	利常	3代	初代利家4男。改作法や十村制度などを制定。幕府との関係改善に奔走。
D	光高	4代	3代利常長男。学問を好み著書も多いが31歳で早世。
E	綱紀	5代	4代光高長男。内政に治績が多く殖産興業や芸術・学問の振興を図った。
F	吉徳	6代	5代綱紀4男。財政悪化に伴う藩政改革を実施。大規模元を重用し後の加賀騒動の遠因をつくる。
G	宗辰	7代	6代吉徳長男。先代の死去後藩主となるがわずか1年半で早世。
H	重熙	8代	6代吉徳2男。先代死去後藩主となる。加賀騒動と呼ばれる御家騒動が発生。
I	重靖	9代	6代吉徳5男。先代の死去後藩主となるがわずか4ヶ月で早世。
J	重教	10代	6代吉徳7男。土風改善、農政改革、産業統制などを実施したが藩内の反発も強かった。
K	治脩	11代	6代吉徳10男。越中勝興寺住職から還俗して藩主となる。藩校新設など藩士の育成に尽力。
L	齊広	12代	10代重教2男。現在の兼六園の地に竹沢御殿を造営。藩内の土風改善に尽力。
M	齊泰	13代	12代齊広長男。幕末の動乱に対処すべく革新的改革を行う。
N	慶寧	14代	13代齊泰長男。版籍奉還により金沢藩知事となるが廃藩置県により職を辞し東京に移住。
O	利嗣	15代	14代慶寧長男。侯爵。
P	利建	17代	16代利為長男。侯爵。

番号	被葬者	備考
①	松	初代正室
②	永	2代正室 織田信長娘
③	珠	3代正室 徳川秀忠娘
④	阿智	4代正室 徳川頼房娘
⑤	摩須	5代正室 保科正之娘
⑥	磯	6代正室 徳川綱誠娘
⑦	常	7代正室 松平正容娘
⑧	千間	10代正室 徳川宗将娘
⑨	正	11代正室 前田利道娘
⑩	隆	12代正室 鷹司政照娘
⑪	偕	13代正室 徳川家斉娘
⑫	崇	14代正室 有馬頼徳娘
⑬	通	14代正室 鷹司政通娘
⑭	朗	15代正室 鍋島直大娘

番号	被葬者	備考
⑮	利久	初代兄
⑯	幸	初代長女 前田長種室
⑰	利貞	初代6男
⑱	豪	初代4女 宇喜多秀室
⑲	千世	初代7女 細川忠隆室、のち村井長次室
⑳	富	3代4女 八条宮智忠親王妃
㉑	利命	12代養子
㉒	品川左門	3代利常に殉死した家臣
㉓	古市左近	3代利常に殉死した家臣
㉔	堀作兵衛	3代利常に殉死した家臣
㉕	原三郎左衛門	3代利常に殉死した家臣
㉖	竹田市三郎	3代利常に殉死した家臣
㉗	小篠善四郎	4代光高に殉死した家臣
㉘	浅井源右衛門	4代光高に殉死した家臣